

『ザ・本とインターネット』 ソーシャル読書セミナー 第1回

2010年10月19日

@ドコモスマートフォンラウンジ

データセクション株式会社 橋本大也

講師プロフィール

橋本大也

- データセクション(株) 取締役会長
- (株)早稲田情報技術研究所 取締役
- (株)メタキャスト 取締役
- (株)日本技芸 取締役
- デジタルハリウッド大学 准教授 橋本研究室室長
 - 授業「リサーチ&プランニング」
- 多摩大学 大学院 経営情報学科 客員教授
 - 授業「知識イノベーション論」「Webマーケティングイノベーション」
 - 知識リーダーシップ総合研究所
- NPO法人 オーバルリンクI/O 理事
- 情報考学 Passion For The Future ブログ
 - 書籍:「情報力」
 - 書籍:「Web時代の羅針盤 213冊」主婦と生活社
 - 書籍:「新データベースメディア戦略」インプレス社
 - 書籍:「アクセスを増やすホームページ革命術」ほか

ブログについて

情報考学

Passion For The Future

- <http://www.ringolab.com/note/daiya/>
- 2003年9月に開始
- 書評、ソフトウェア評、IT業界論など2000本。
- 書評は1200冊超
- NHK「クローズアップ現代」新聞、雑誌、ラジオで紹介されアクセス増える



情報考学

橋本大也

Passion For The Future

WEB時代の羅針盤

213

冊

<http://www.access.or.jp>

アクセス向上委員会
橋本大也

アクセスを
増やす
ホームページ
革命術

MYC@M



二西本詩撮影

読んで書いてより深く

プログラー・橋本大也さんに聞く

大学在学中の90年代半ばにITビジネスを始め、日本のインターネット業界の草創期から活躍している橋本さん。コンサルティング会社「データセクション」会長として多忙な毎日を送る一方、03年9月からブログ「情報者」でも書くのも大好き。「本なら

モチアルトや、ペーターベンの音楽とも全く無縁、おおよそ文化的というには程遠い子ども時代を送ってきました。建築の道を進もうと考えたのは10代の終わりのころで、まずはどのようなことを勉強すべきかと、関西近郊の大学をのぞきに行ったのですが、講義内容が全然わからない。文化的知識量が全く足りてい



いでも本を読みはじめましたが既に手遅れの状態で、長年文化的な生活に慣れ親しんできた人たちには追いつきようもない。彼らは本当に豊かな子ども時代を送ったのだなとつくづく羨ましく思いました。私といえば、世が文化的知識を吸収していた幼少期に、魚を釣ったりトンボをとったり、ソフトボールをしたり紙

など、生きていく上で最も大切なことを学ぶことはできましたが、いわゆる文化的素養を育む機会はありませんでした。中学2年のころ、生まれ育った長屋の2階を増築した時に、一心不乱に働く大工さんを見て、建築という職業に強い興味を覚えました。こま

るに似た大工さんの姿が忘れられず、独学でも建築の道を進もうと決心し、周りの人たちに少しでも追いつこうと、そこから必死で本を読み始めます。将来に何の保証もなく、不安で一杯のスタートでした。しかしそんな私の決意を固めるきっかけとなったのが、このこ

いくらでも買ってもらえたので、書店によく通った。ブログを始めてさらに読書熱が高まり、年間約500冊を手に入れ、約300冊を読破。200冊程度を評している。通勤に片道約1時間20分かかると、電車内と帰宅前とで1日ほぼ1冊読めるという。多忙な中、書評の執筆時間

を確保するのは大変なのは？「全く勉強書かないと損をした気分になると話す。「読書の楽しみの一つは自分の内面が整理されていく感じがすること。ただ言葉にしないまま終わると、感じていられないと理解できないところ、終わる気がするんです」

だと気付かされまし、だから、子どもが書へことは大切だと感じる。「当時は『やらされる』感じで、何を書ぶのか分かりませんでした。なら、他人にその本を読んでもらえるようにこの本の何がいいのかを明らかにする前提で読むと、橋本さんが本の魅

はしもと・たいや、1970年生まれ。プログラー。データセクション会長。早稲田大在学中にインターネットの可能性に目覚め、IT系ベンチャー企業を創業。主な著書に「情報力」「情報者」W E B 2.0時代の確証 213冊など。デジタルハリウッド大准教授、多摩大大学院客員教授も務めている。

著者や編集者が感想を寄せることも。ある大学教授の本を紹介したところ、その教授に招かれ、講義を担当することになった。「アウトプット(書くこと)とインプット(読むこと)が互いにいい影響を与え合う循環が始まった。インプットだけだと発展性がな

い。そのバランスが大切な冊べら」。そんな

個人がブログなどに載せた書評を、多くの人が本を選ぶ参考に使っている。本の売れ行きに影響を与えることもあるという「ネット書評家」。出版社も注目する彼らの実力を探ってみた。

本の売れ行き左右する人も

主なネット書評	
ブログ・メルマガ名	ジャンル
404 Blog Not Found (http://blog.livedoor.jp/dankogai/)	人文、科学、社会など
俺と100冊の成功本 (http://blog.zikokeihatu.com/)	自己啓発書
浅沼ヒロシの書評ブログ 晴読雨読日記 (http://d.hatena.ne.jp/pyon3/200708)	社会、経済、文芸など
ビジネス・ブック・マラソン (メルマガ)	ビジネス

ネット書評家の実力

だ。メルマガに書くのはビジネス書や自己啓発書の書評が中心。三十、四十代のビジネスマンら一万三千人強の読者がついていて、「人に薦めたい本だけを取り上げ、内容の批判はしない」のがポリシー。「オススメ度」を星の数で表し、どういった人が読むとためになるかを示すなど、徹底して読者の視点に立って本を紹介する。

本を送っているタイヤモンド社書籍編集局第三編集部の土江英明編集長は「人気のある

これまでに紹介した本は経済書から文芸書、科学の本まで八百冊超。ITベンチャーを経営する橋本大也氏(36)が自身のブログ「情報考字」(<http://www.rimgoia.com/ote/daiya/>)に書評を書き始めたのは二〇〇三年九月のこと。徐々に読者が増え、一日当たりの閲覧件数は現在約一万。書いた文章が他のブログなどで引用されることも多く、ネット社会

で強い影響力を持つ書評家として知られる。新刊から古典まで最低でも一日一冊は読破

し、ブログは毎日更新する。書評を読んだ人がネット書店で本を購入すると手数料が入る契約をしており、年間の収入は約百二十万円にもものほ

る。書評家は読者の信頼もあつく、取り上げられると購買に結びつきやすい」と語る。出版社もその影響力を販促に生かせると考えているのだ。

口コミの力増幅

実際、ネット書評家がキャンペーンのかたちで特定の本を紹介した結果、ヒットにつながった例も出ている。五月刊行の浜口隆則著『戦わない経営』(かんき出版)は、見本本を読んだ複数のネット書評家が発刊前に内容を紹介しますとネット書店に予約が集中的に入り、発売後二週間で増刷、三万部を売り上げた。

会社役員の松山真之助氏(53)のもとには、複数の出版社から週五、六冊の本が送られてくる。もちろん無償。松山氏の書評メールマガジン(メルマガ)「Webbook of the Day」に取り上げてもらうための献本

優良なレビューによる書き込みは本の売れ行きも左右する。「レビューの実している本は書が高い」(同社)消費者行動論者 康介・首都大学手「ネット時代に」の力が増幅し、社会に対して「持ちうる」と指評論家ではない文章なので



起業家の橋本大也氏は帰宅後や週末に書評を執筆している

夕刊文化

林家木久蔵さん 息子に名前譲り、木久扇に



セルヴィス・ランペール
「早稲 近津原橋山本」
©photo P. Schmidt.

CULTURE

アート

時代を開くブロガー ② 橋本大也さん

データセクション代表取締役 37

「時代を開く」は、たゞ内容が薄くても、その時々に関心がある本を、一気にかき切る姿勢をもっと褒めたい。1冊1冊の0巻以上は本を読む、驚異的な読書量に交えられ、書評やソフトウェア評を掲載するブログ「情報考学」は、今年目に入れている。

「ネタとして途切れない本を手探りに導く」という最初の設計がよかった。日記形式が多いブログの中、タイトル通り考えることには変わった点が秀出している。

小学生の時からパソコンに

どことぞり強かり、当時すでにブログラミングを覚悟していた。今では1冊1冊チャーターの読書者、そんなデジタル人間だけに、本を読むのはもはやネット書店かと思いきや、大型書店でゆっくりと本

を渡すのが好きだという。「ネットではいくら検索しても数百冊という情報は得られない。リアルな書店では、何となくという情報にアクセスできる」とアナログ的な行動のよさで、きわめて合理的な

読考に基づいている。無数はちどころ嫌う。本を読み始めて、面白くないと思ったらすくすく切り捨てるのが、新しい本が読めると発想する。移籍にも如実に表れてい

ただ、どこでも、考えながらを書き進めるように、ノートに書き進める。デジタルツールの活用は当然。ポッドキャストに録音したり、自分で自分にメールを打ったり。それを参照して、絶えず更新するブロガーを刷新するのを進言している。



年200冊「即読」驚異の書評

て入学した早稲田大学で8年間フルタイムで勤務。高校中退は、学校では好奇心が顕著なため、卒業しなくても大検があるから、大学に飛び込んだのは「はやい始めたインターネットへのアクセス環境が整っていたから」。戻りに左右されず、自分の「理」に身を委ねる。

初めてのブログで書評した本は、父の思い出せない。「橋本すれば分かるけれど……」。橋本さんが「理」を構築して来たのは、1999年の9月10日。はいかたして、橋本さん(2008年7月現在)は、早稲田大学で勤務している。

POINT 4

ブログを書く続ける秘訣の二つ

だ。そして、考えたことを書き進めるように、ノートに書き進める。デジタルツールの活用は当然。ポッドキャストに録音したり、自分で自分にメールを打ったり。それを参照して、絶えず更新するブロガーを刷新するのを進言している。

7:30

リポートアッパ Today's Close Up 現代



影響力を増す
超人気ブログ



“カリスマ”登場!
超人気ブログ



アルファブロッガー

橋本 大也さん(36)

『情報力』

2009年1月9日発売
翔泳社 980円

「膨大な情報や頭のもやもやをスッキリさせる」

これまでになかった「情報」を「知恵」にする技術

アタマとデジタルツールをフル活用して“ハイパー個人”



本日の内容

第1部 10月のオススメ書籍(過去7年分)

第2部 今月のテーマ本

テーマ ソーシャルネットワークの科学

第3部 デジタル読書向上委員会

テーマ 速読テクノロジー

第1部 10月のおすすめ書籍

- 2003年から2010年までの10月に読んだ書籍を振り返りながら、ブックナビします。

2003年10月

エブリデイ・ジーニアス 「天才」を生み出す新しい学習法

• 天才児の統計

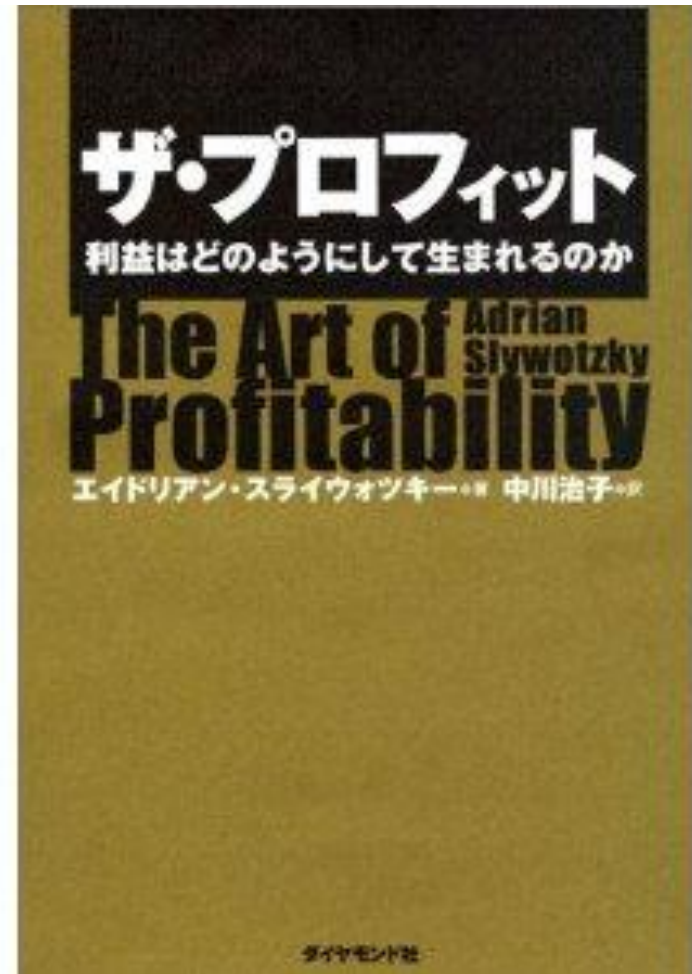
1. 天才児の大半は男子である
2. 天才児は中産階級の家庭の第一子であることが多い
3. 天才児の親は、出産平均年齢よりも高齢で子をもうける傾向がある
4. 天才児は、帝王切開で生まれる率が高い
5. 天才児の親は、驚異的な才能を持つ子どもを通じて自分自身の野心を実現しようとする率が高い



ザ・プロフィット

利益はどのようにして生まれるのか

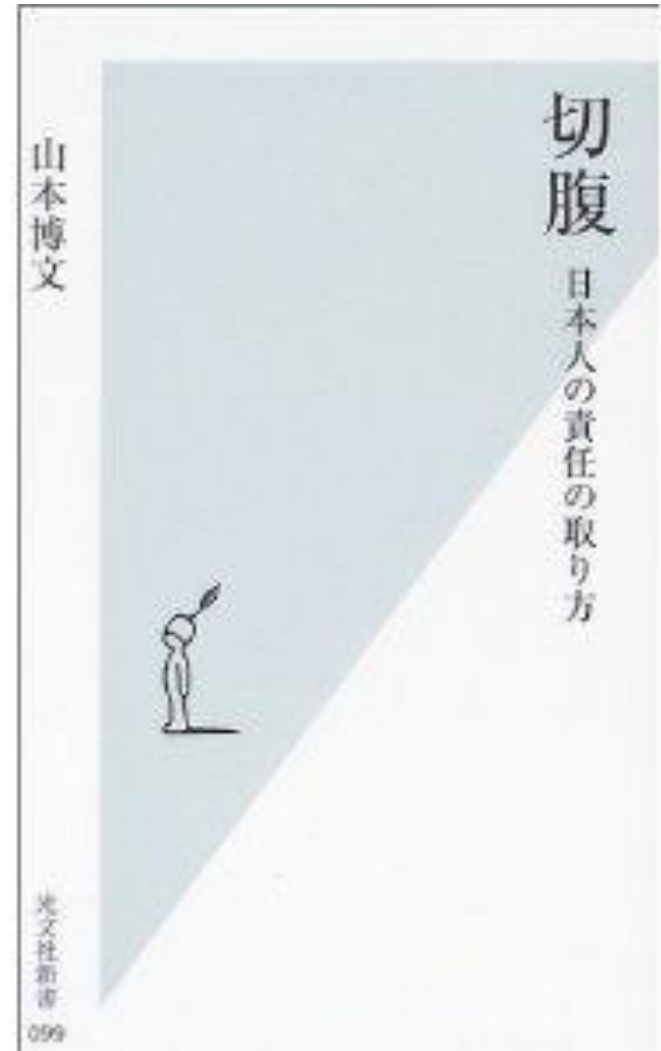
- ベストセラービジネス小説。場所はマンハッタンのダウンタウン。大企業デルモアで働く若者スティーブが毎週土曜日、ビジネスの賢者チャオに企業の利益について教えを請う。繰り返される問答の中、現代のビジネスを網羅する23の利益モデルが語られていく。ひとつひとつの利益モデルをチャオは、リーガルパッドに図として書きなぐって、スティーブに渡す。
- デファクトスタンダード利益モデル、インストールベース利益モデル...



2004年10月

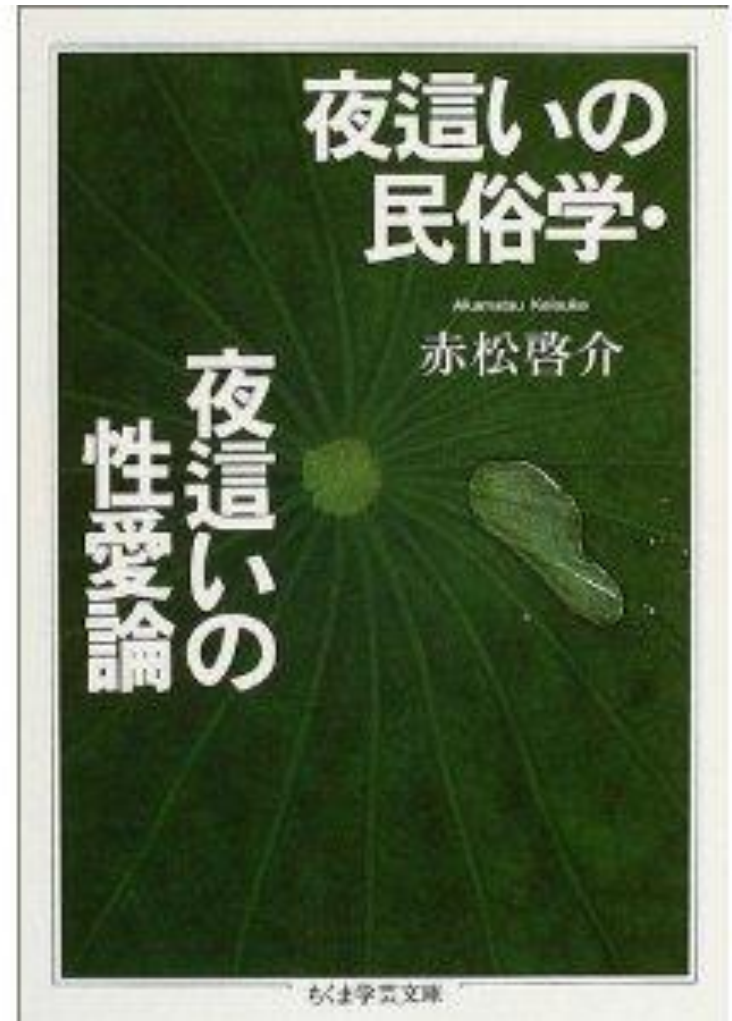
切腹 日本人の責任の取り方

- 古くは鎌倉時代から江戸時代までに切腹で果てた400人以上の事例を分析していく。
- 偉いお殿様はネズミのふんをみてみぬふり
- 親戚縁者が集まって、納得しない本人に切腹を強要したり、無理やり殺した上で切腹に見せかける工作をしたような話も紹介



夜這いの民俗学・性愛編

- 柿の木問答。
- 「あんたところに柿の木あるの」「ハイ、あります」「よう実がなりますか」「ハイ、ようなります」「わたしが上がって、ちぎってもよろしいか」「ハイ、どうぞちぎってください」「そんならちぎらしてもらいます」



2005年10月

発想法—創造性開発のために

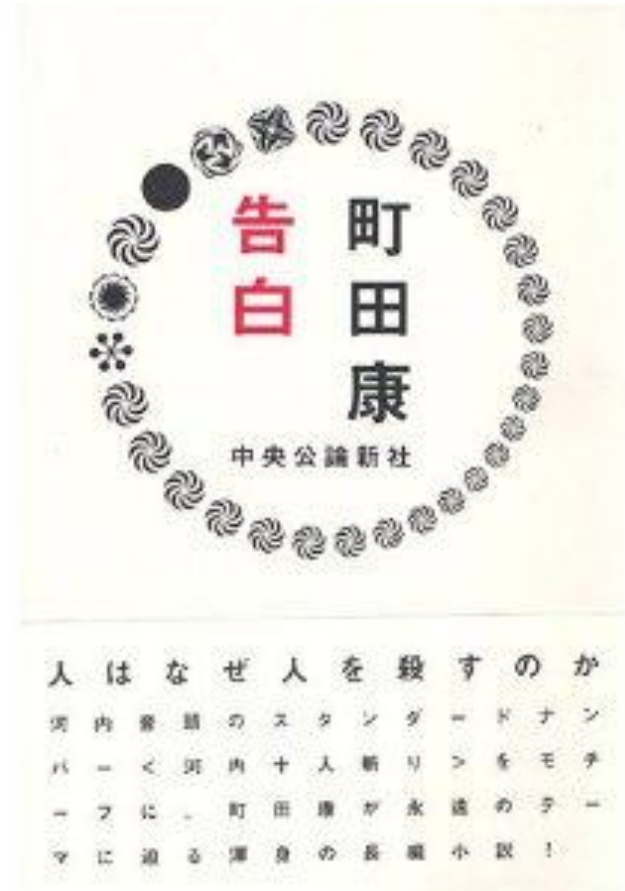
- KJ法に必要なもの
- 1 黒鉛筆とサインペン
- 2 赤・青などの色鉛筆
- 3 クリップ多数
- 4 ゴム輪を多数
- 5 名刺大の紙片多数
- 6 図解用の半紙大の白紙
- 7 文書を書くための原稿用紙
- 8 紙を広げる場所



2006年10月

告白

- 明治時代に起きた、実際の大量殺人事件「河内十人斬り」。幼子まで含めて10人を惨殺する残虐事件でありながら、熊太郎・弥五郎の復讐劇は、盆踊り「河内音頭」のテーマとして歌い継がれてきた。
- ひとつきあいが苦手で、性根が駄目人間の城戸熊太郎が、なぜ村人を恨み大殺戮に至ったのかを、生い立ちから綴った独白である。



2007年10月

十牛図—自由訳

- 第一図 尋牛(じんぎゅう) 牛を捜しにゆく
- 第二図 見跡(けんせき) 牛の足跡をみつける
- 第三図 見牛(けんぎゅう) 牛を見つける
- 第四図 得牛(とくぎゅう) 牛をつかまえる
- 第五図 牧牛(ぼくぎゅう) 牛を飼い馴らす
- 第六図 騎牛帰家(きぎゅうきか) 牛に乗って家に帰る
- 第七図 忘牛存人(ぼうぎゅうぞんじん) 牛は消え私だけがいる
- 第八図 人牛俱忘(じんぎゅうぐぼう) 人も牛もいなくなる
- 第九図 返本還源(へんぼんかんげん) 生まれ変わる
- 第十図 入てん垂手(にってんすいしゅ) 俗に入り教化する

自由訳
十牛図

新井満



寺山修司ラジオ・ドラマCD

「犬神歩き」「箱」「鳥籠になった男」「大礼服」
「まんだら」

- 1960～70年代、寺山修司にとって20代から30代にかけて精力的に制作したラジオドラマの復刻シリーズ。
- 1時間近い大作を1話収録したCDと、20から30分物×2話収録したCDの2種類がある。
- どれもクオリティがとてつもなく高い。

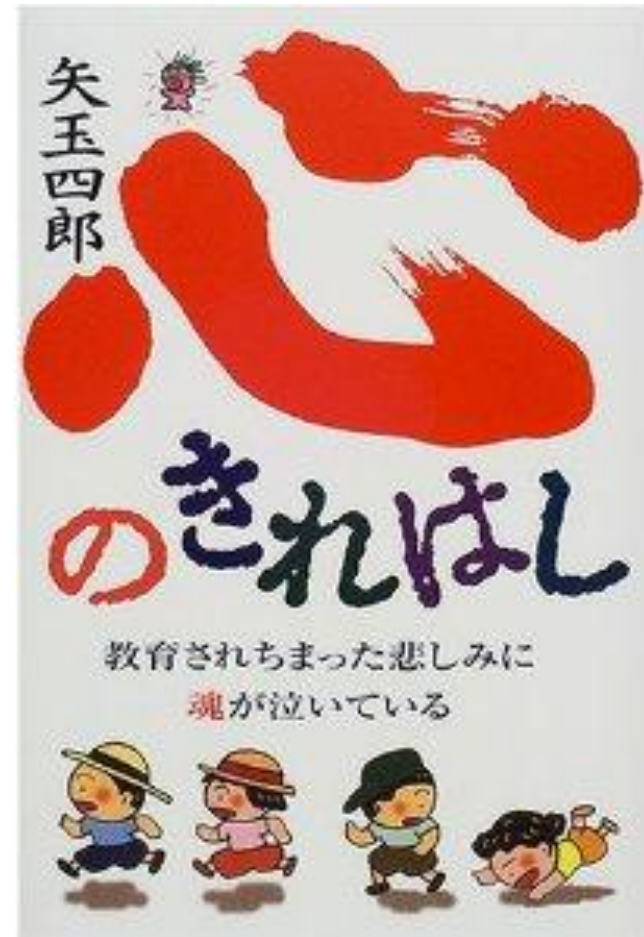


2008年10月

心のきれはし

教育されちまった悲しみに魂が泣いている

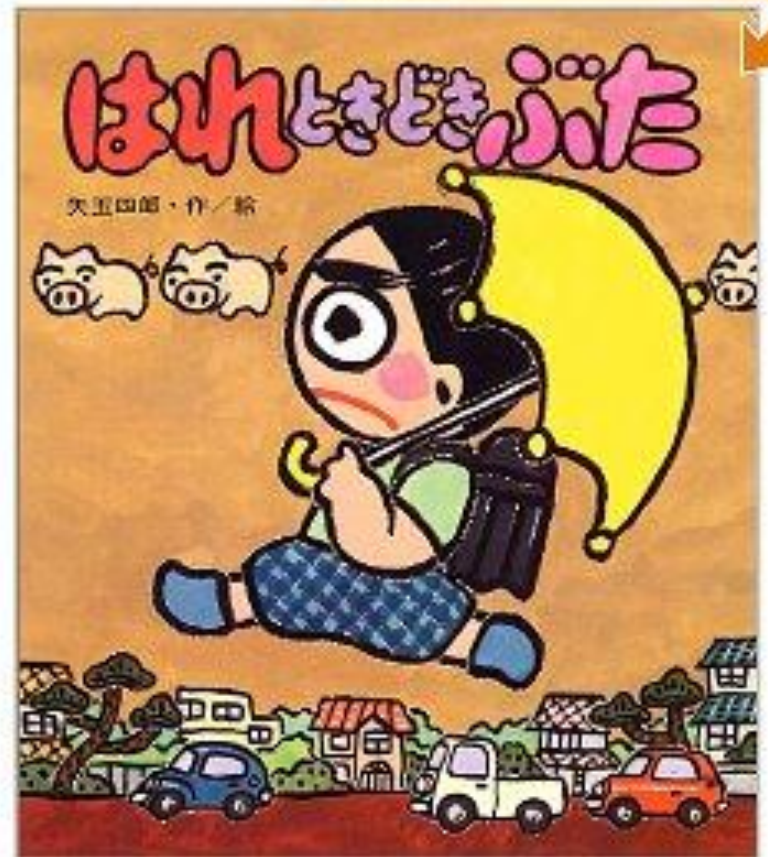
- 名作「はれときどきぶた」の児童文学作家 矢玉四郎が書いた教育論
- 「子ども」なんて書くな
- 「日本の学校は、小賢しい人間を製造する工場となりはてた。」
- 「いちばん過酷な状況を生きた者こそが、子供になにを教育するかを述べるべきなのだ。」



はれときどきぶた

- 1980年に出版以来、子供に圧倒的に支持されて130万部のベストセラー。
- はれぶたシリーズ一作目。日記に書いたことが翌日、現実になる。主人公の日記はどんどんありえない内容にエスカレートしていく。明日の天気は「はれときどきぶた」と書いたら本当に天から豚が降ってきた。
- 後書きには「多くの人がまちがっていて、ひとりだけ正しかったということもよくあることだ。だから自分の感じたこと、考えたことはちゃんといえるようにならなくちゃいけない。」

クリック なか見! 検索



エア

- 21世紀の世界に究極的なコミュニケーション技術が登場したらどんな社会変化を及ぼすかを、寓話的に予言している
- 全人類の脳を直説的に連結する究極のP2Pネットワーク「エア」



2009年10月

デンデラ

- 登場人物50人のうち75歳以上の後期高齢者が30人以上を占めるという、前代未聞の超高齢化社会小説
- 姥捨て山に捨てられた老婆たちが50人、村の反対側の"デンデラ"で何十年も密かに生き延びて、自分たちを捨てた村への復讐の機会を虎視眈々と狙っていた



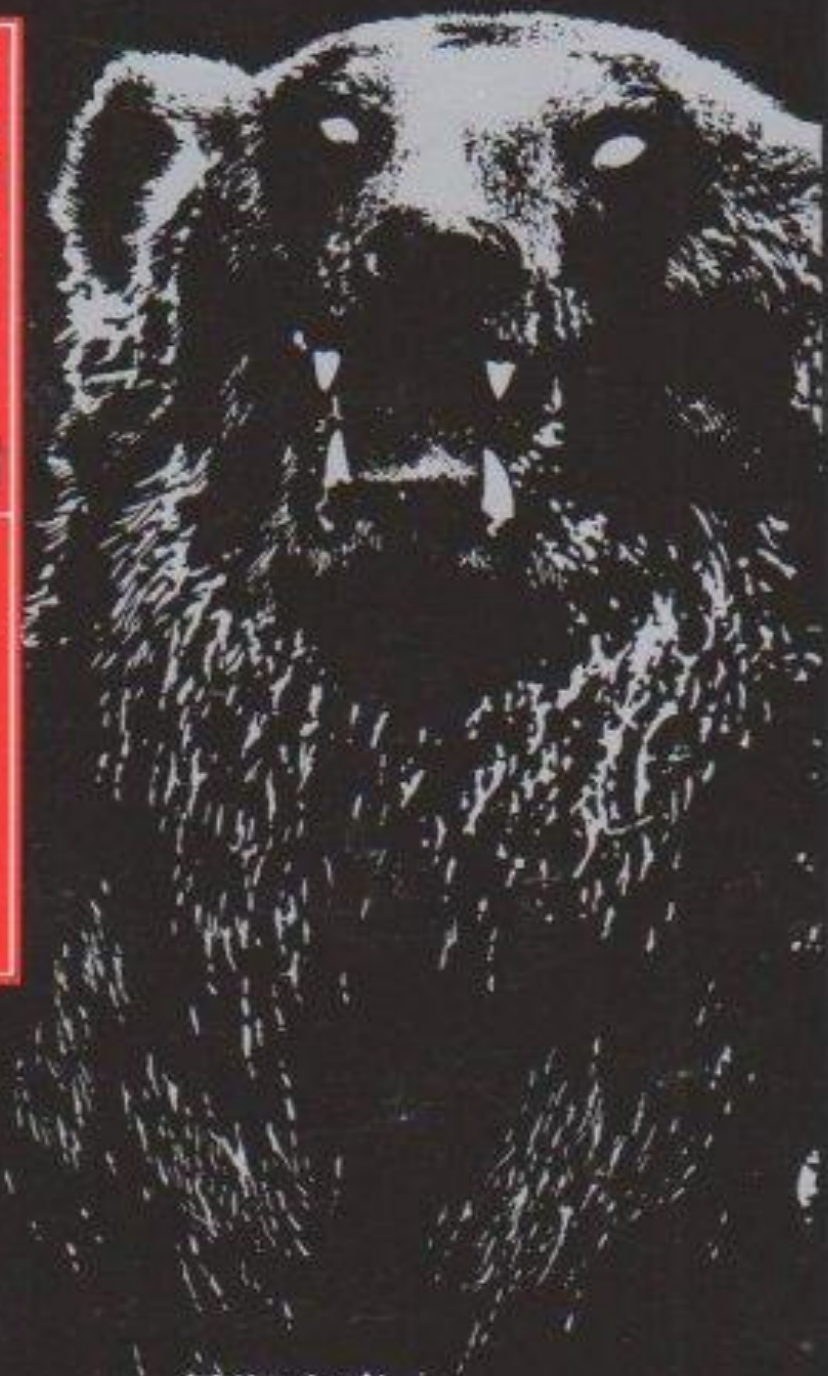
2010年10月

羆

くまあらし

嵐

吉村昭



新潮文庫

羆嵐

- 史上最悪と言われた羆の襲撃事件をベースにしたドキュメンタリ
- 吉村昭作、新潮文庫。新刊でもなんでもないが、店頭で表紙買いした。大当たり。
- 凶暴な羆に生きたまま食われる無力感、絶望感はホラー映画を超えた



第2部 今月のテーマ本 “ソーシャルネットワーク”

- ソーシャルネットワークを読み解くキーワード
 - ソーシャルグラフ(つながり)
 - 「空気」と「世間」
 - 影響力

つながり

社会的ネットワークの驚くべき力

- 六次の隔たり(友人を6人たどると世界がつながる)と三次の影響(友人の友人の友人にまで影響力は及ぶ)が、社会的ネットワークのかなり普遍的な動作原理であることを再認識させられる本。
- 社会的ネットワークは、情報だけでなく笑いの感情、幸福感、孤独感、性行動、離婚、健康、自殺、肥満、喫煙、禁煙、投票、病原菌など驚くほど多くのものを伝播させる系



- たちはどうつながっているのか ネットワークの科学を応用する
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/2007/06/post-585.html>
- つながりの科学—パーコレーション
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/archives/000406.html>
- 人脈作りの科学—「人と人との関係」に隠された力を探る
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/archives/002338.html>

空気の研究

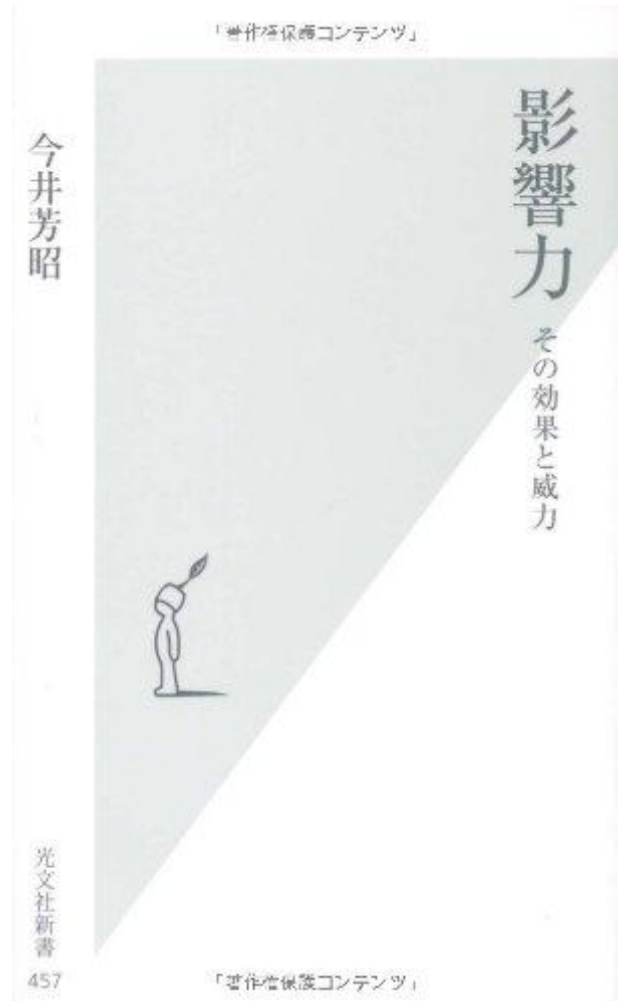
- “たとえば、ある会議であることが決定される。そして散会する。各人は三々五々、飲み屋などに行く。そこでいまの決定についての「議場の空気」がなくなって、「飲み屋の空気」になった状態での文字通りのフリートークがはじまる。そして「あの場の空気では、ああ言わざるを得なかったのだが、あの決定はちょっとネー……」といったことが「飲み会の空気」で言われることになり、そこで出る結論は全く別のものになる”



- 「世間体」の構造 社会心理史への試み
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/2010/06/post-1245.html>
- 「空気」と「世間」
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/2009/11/post-1117.html>
- タテ社会の人間関係 — 単一社会の理論
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/2008/02/post-702.html>
- 世間の目
 - <http://www.ringolab.com/note/daiya/2004/08/post-131.html>

影響力 その効果と威力

- 1 賞影響力 賞のコントロール
- 2 罰影響力 罰のコントロール
- 3 専門影響力 専門的知識
- 4 正当影響力 高地位、資格
- 5 参照影響力 理想像
- 6 魅力影響力 魅力性
- 7 情報影響力 説得力ある情報の提示
- 8 対人関係影響力 コネクション
- 9 共感喚起影響力 苦境の提示
- 10 役割関係影響力 役割に基づいた要求



- ある人を好意的に思うようにさせる要因

- 近接性「近くにいる人、好きになる」
- 容貌「見た目を整え、好印象」
- 類似性「似ている人に惹かれてる」
- 返報性「好意を示して、いい関係」

- 社会的手抜きが起きる条件は

- 行為者にとって課題がつまらなく、重要でない。
- 課題が簡単である(多くの努力や技術が必要とされない)
- 各行為者がまったく同じ課題を行う
- 一緒に課題を行う他者が見知らぬ人である
- 自分以外の他者の作業能力が高いと期待される
- 男性である
- 西洋文化圏である

第3部 デジタル読書向上委員会

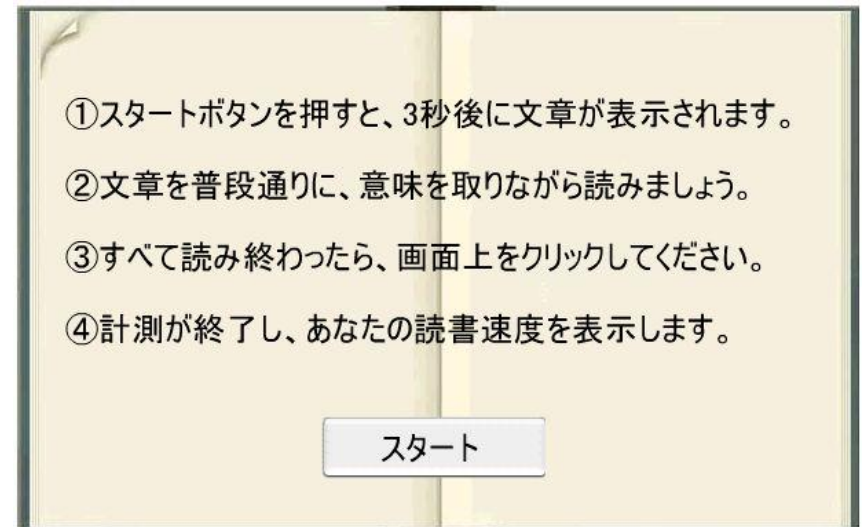
テーマ：速読の技術

日本人の平均読書スピード

- 日本人の読書の平均速度 1分に平均600字～800字
- 私が普段読んでいる本の平均値1ページ当たり640字、250ページ
- すると一冊当たりの文字量は、
 - $640\text{文字} \times 250\text{ページ} = 16\text{万文字}$
- 読書の平均速度で割ると、1冊読み終わるのに3.3時間～4.3時間が必要。

速読について

- 私の平均読書スピード
 - 2時間半～3時間で1冊を読む
 - 難易度によって大きく変わる所要時間
 - 味わうにはゆっくり読む
 - もっと速く読むことができれば、たくさん読むことができるが...



<http://www.zynas.co.jp/genius/sokudoku/sokutei.html>

フォトリーディング

本や教科書があつという間に頭に入る!

最強のビジネスツール!
最強の勉強法!

図解!

あなたもいままでの

10倍速く本が読める

速読を
超えた速読
「フォトリーディング」
がよくわかる

神田昌典 監修
フォトリーディング公認インストラクターズ 著

仕事に、試験勉強に…
あつという間に
文書が読めて、
しっかり理解できる!

ページを頭に
写し取る!

新聞、雑誌
でも
大注目の、
常識を覆す速読術
「フォトリーディング」
のノウハウを大図解!

単行本
「あなたもいままでの
10倍速く本が読める」
26万部
突破!

トレーニング不要! こんなにカンタン!

フォレスト出版 定価 1980円・税別

- **1ページを1秒**で視覚的に読む。250ページの本であれば、5分程度で読む
- 「要点がかかかわる重要なことがらが書かれているのは文書中の4-11%に過ぎない」
- 内容を詳細に理解する、味わうことは目的ではない

速読トレーニング

—すぐに役立つ実践10ステップ



プロローグ あなたの読書速度は？

第1回 基礎知識—トレーニングの心構え

第2回 基礎知識—読みの速度と理解度

第3回 基礎知識—こんなクセはやめよう

第4回 基礎知識—速読のための眼球運動

第5回 基礎知識—キーワードを利用して速読をしよう

第6回 基礎知識—小説や物語を読む場合の理解とは？

第7回 基礎知識—スキッピング

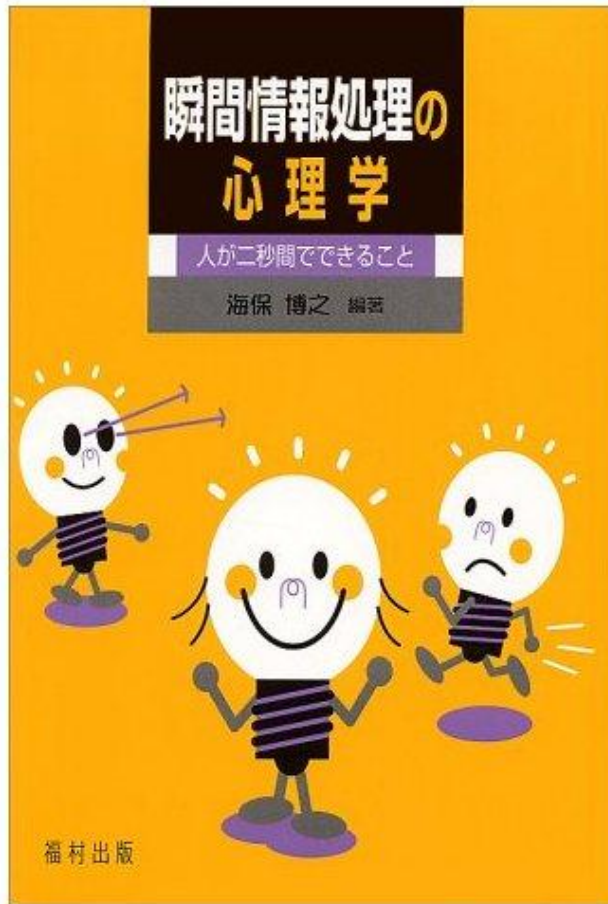
第8回 基礎知識—プレ・リーディング

第9回 基礎知識—スキミング

第10回 基礎知識—必要な個所を読むとばし読み、ぬかし読み

エピローグ 終わりに—確認のテスト

瞬間情報処理の心理学 人が二秒間でできること



- 人間が2秒以内で処理できること。
- 12人の認知心理学研究者の小論集。
- 日本語文書は一般的には、漢字が25%～45%。かなが45%～65%、残りがカタカナ、数字、記号。
- 読みやすい文章を作るには、漢字使用率を30%程度に
- 速い読み手は。眼球運動が最適化されていて、1行を165～170ミリ秒で認識し、1分間に1200字を読むことができる。

速読のポイント

- 正確な眼球の上下運動ができること
 - 行の後戻りをしない
- 滞留時間の短縮
 - 1行を3ブロックに分けて、3回の眼球移動で読む
- 視野の拡大
 - 2行同時に読む

速読法を使わない私流の 「それなり速読術」)

1. 読む動機を明確にする

- 義務の読書は遅い、興味のある内容は速い
- 買ってすぐ読む「即読」は速読になりやすい

2. 入門・総論本を先に、専門・技術本は後に

- 予備知識があると速い

3. 目次やまえがきをじっくり読む

- 構成を把握していれば速い

4. 途中でペース確認をする

- 30分おきに速度確認
- 藤沢→横浜→東京

5. 面白くない本は早めに切り捨てる

- 第一章がピンとこないなら要注意
- 放り出すことは重要

それなりに
30%アップ保証
(当社比)

デジタル読書は速い？遅い？

- 電子書籍は紙の本より読書スピード遅い——専門家がテスト
 - <http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1007/06/news065.html>
- “紙の本と比べて、iPadは6.2%、Kindleは10.7%読書スピードが遅かった。ただしiPadとKindleの読書速度には統計的に有意な差は見られなかったという。”
- “満足度に関して1～7(7が最高)で点数を付けてもらったところ、iPadは5.8、Kindleは5.7、紙の本は5.6だった。PCは3.6とかなり低い点数だった”

どうしたらデジタル速読できるか？ アイデア

- 最新の10ページのラップタイムを表示する
- 昨日の自分のスピードを表示する
- 読書中にメトロノームの音がする
- 速くめくらないと指先に電流が走る
- 速読用の“動く文字”の発明

ありがとうございました

本資料がほしい方は

daiya@datasection.co.jp

まで御意見、御感想をメールしてください。